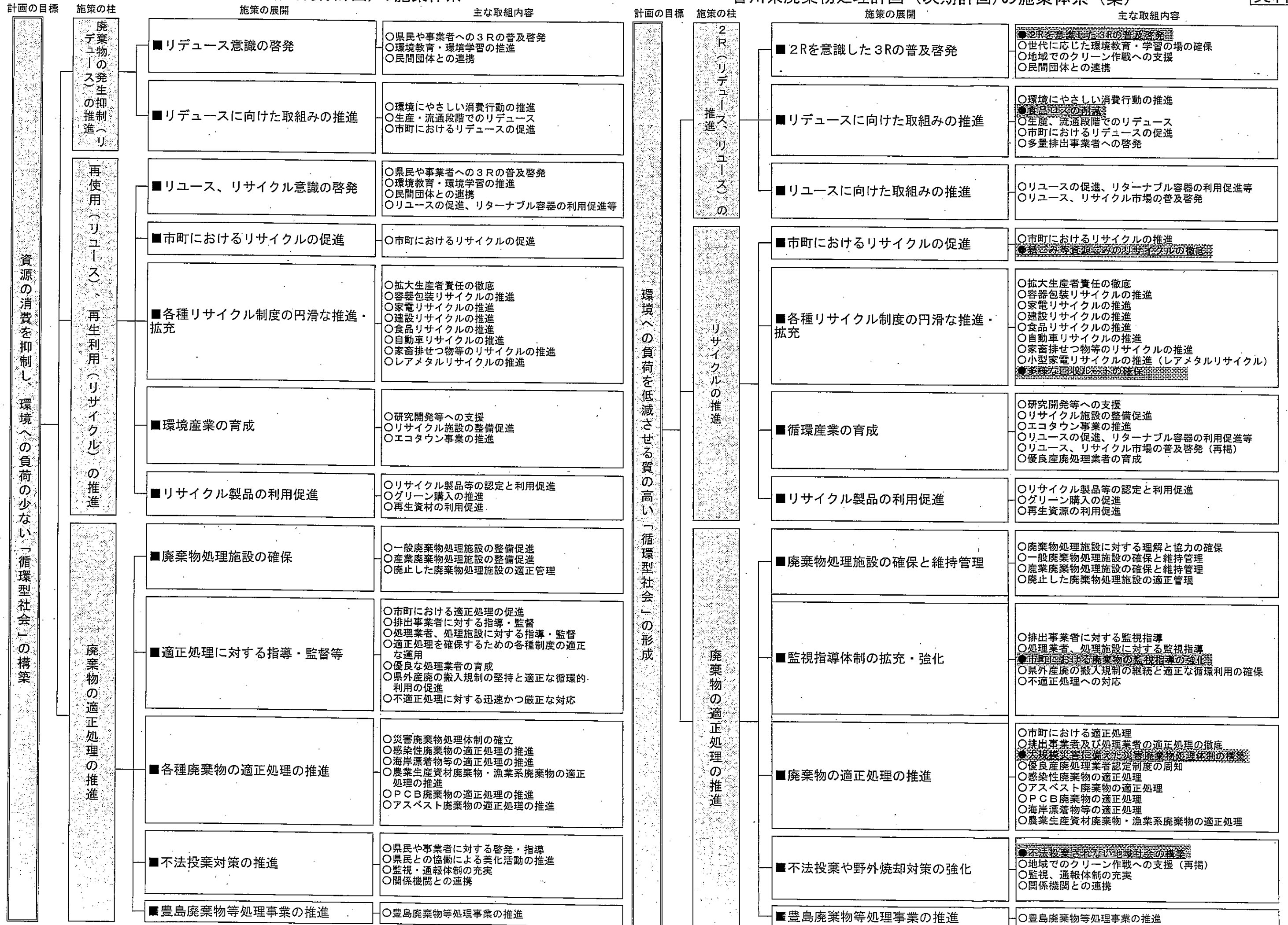


香川県廃棄物処理計画（現行計画）の施策体系

香川県廃棄物処理計画（次期計画）の施策体系（案）



# 2Rの推進

○地球環境の保全、特に地球温暖化対策の推進の観点からは、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)の2Rを進めることが有効である。

○環境への負荷をできる限り低減するためには、リサイクルに先立って2Rを可能な限り推進することが基本とされなければならない。  
(第3次循環型社会形成推進基本計画)

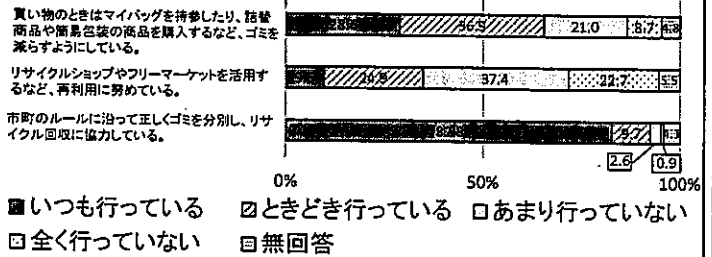
○県政世論調査によると、リサイクルに対する意識は高いが2Rに関する意識は相対的に低いという結果になっている。[図1]

○一般廃棄物の排出量は、減少傾向にあるものの近年は排出量の抑制が頭打ちとなっている。[図2]

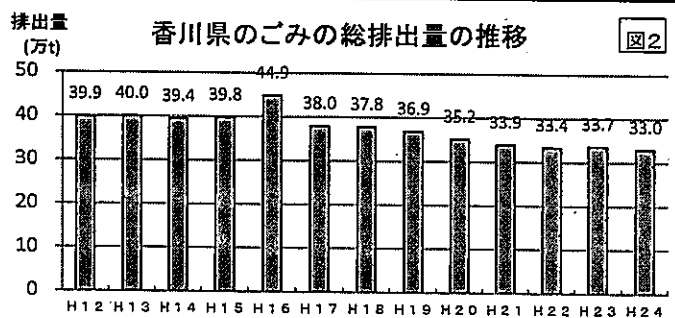
○焼却施設に搬入されるごみのうち、ちゅう芥類(食べ残しなどの食品残さ等)が38%と最も多い。[図3]

○産業廃棄物の排出量は、景気動向に大きく左右される面があり、近年は横ばいから微増傾向にあるが、リサイクル率は年々向上しており、最終処分量も年々減少している。[図4]

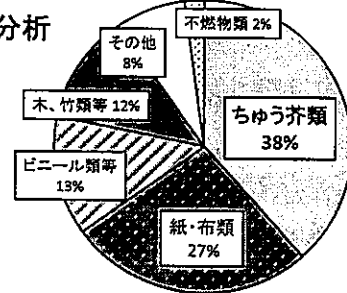
県政世論調査結果(日常生活の中での環境への意識) [図1]



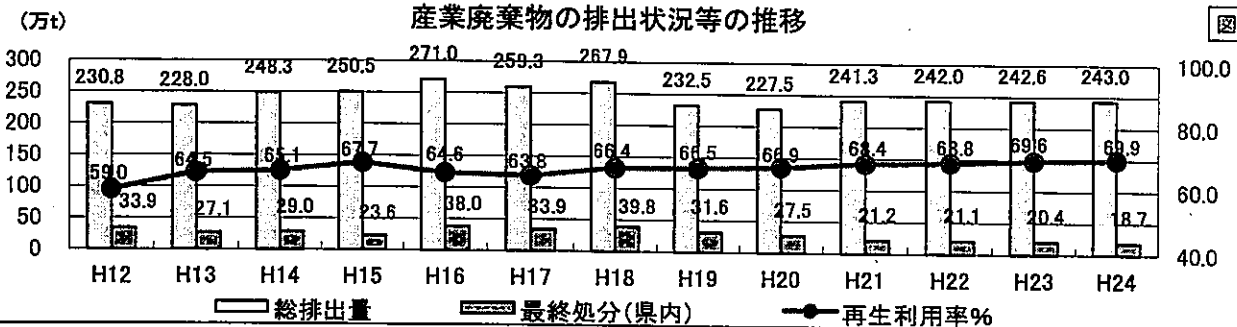
香川県のごみの総排出量の推移 [図2]



ごみ組成分析(湿重量) [図3]



産業廃棄物の排出状況等の推移 [図4]

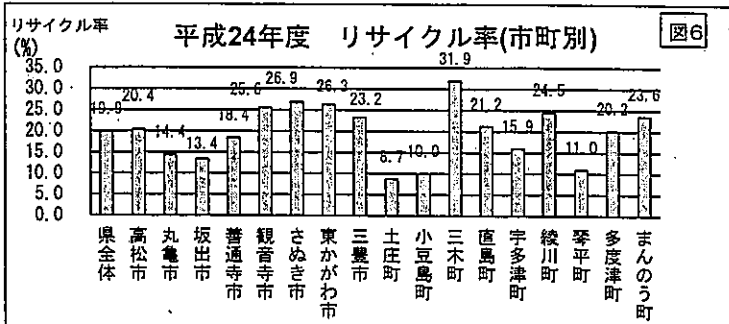
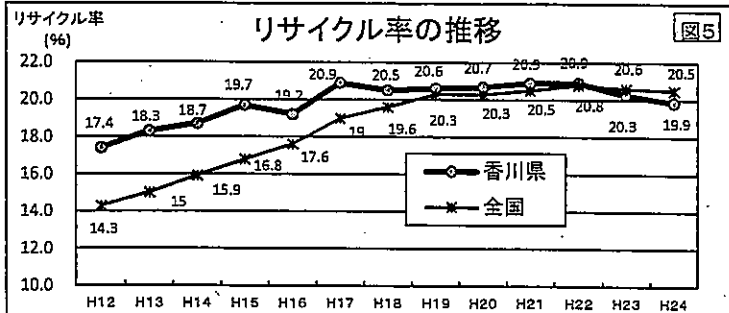


★質の高い循環型社会の形成に向け、「2R」の推進に重点的に取り組むことが課題

- ①創意工夫を凝らした普及啓発等を行う必要がある。
- ②市町や関係団体と連携し取り組む必要がある。
- ③食品ロスの削減に取り組む必要がある。

# リサイクルの推進

○市町における一般廃棄物のリサイクル率はここ数年若干の低下傾向にある。【図5】  
 (基準年H21:20.9%、H24:19.9%)  
 また、市町によって大きな差がある。【図6】  
 (H24:最大31.9%、最小8.7%)

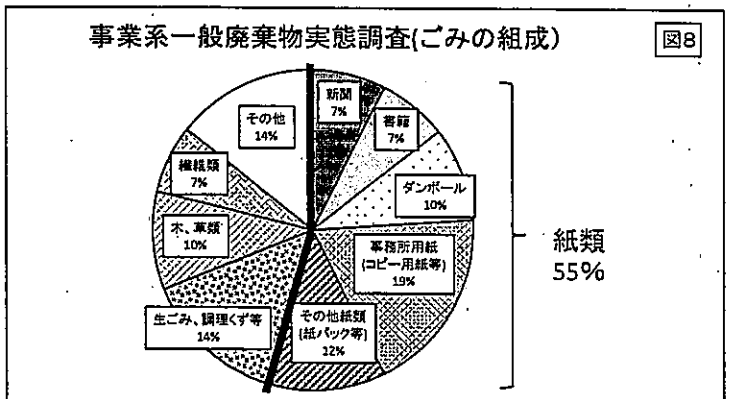


○資源ごみの店頭回収については、県内の多くのスーパー等において行われており、いつでも手軽に出すことができ、ポイント付加の対象となるスーパー等もあることから回収量が増加している。【図7】

**香川県内店舗リサイクル実績** (図7) (単位:t)

	アルミ缶	スチール缶	発砲トレイ	透明トレイ	ペットボトル	牛乳パック	紙類	その他	計	(参考) 県内資源化量
H24年度	96.9	25.3	76.3	18.2	135.4	107.1	2,195.7	8.0	2,662.9	65,578
H25年度	137.6	38.0	76.6	22.9	242.5	126.2	2,194.2	13.3	2,851.3	66,212

○焼却施設に搬入されるごみのうち、紙・布類が27%と多い。【図3】  
 ○特に事業所から出る一般廃棄物のうち紙類が全体の55%を占めている。【図8】



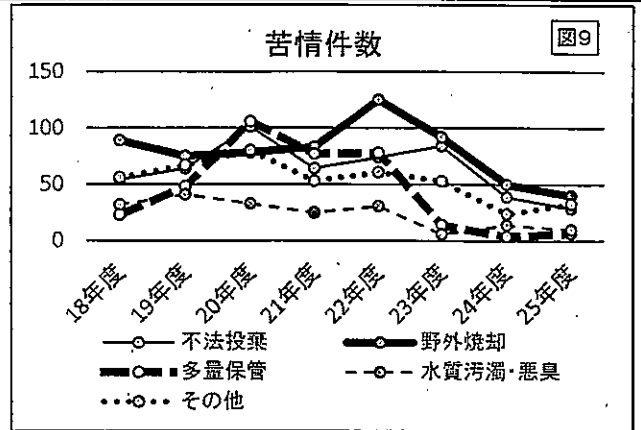
- ★ポイントを絞った、きめ細かなリサイクル対策を推進する必要がある。
- ①市町自らが現状分析を行うとともに、その結果を踏まえて独自の取組みを充実させる必要がある。
  - ②県民のニーズを踏まえた回収を促進する取組みを検討する必要がある。
  - ③焼却ごみに多く含まれる紙ごみ対策を検討する必要がある。

# 不法投棄や野外焼却対策の強化

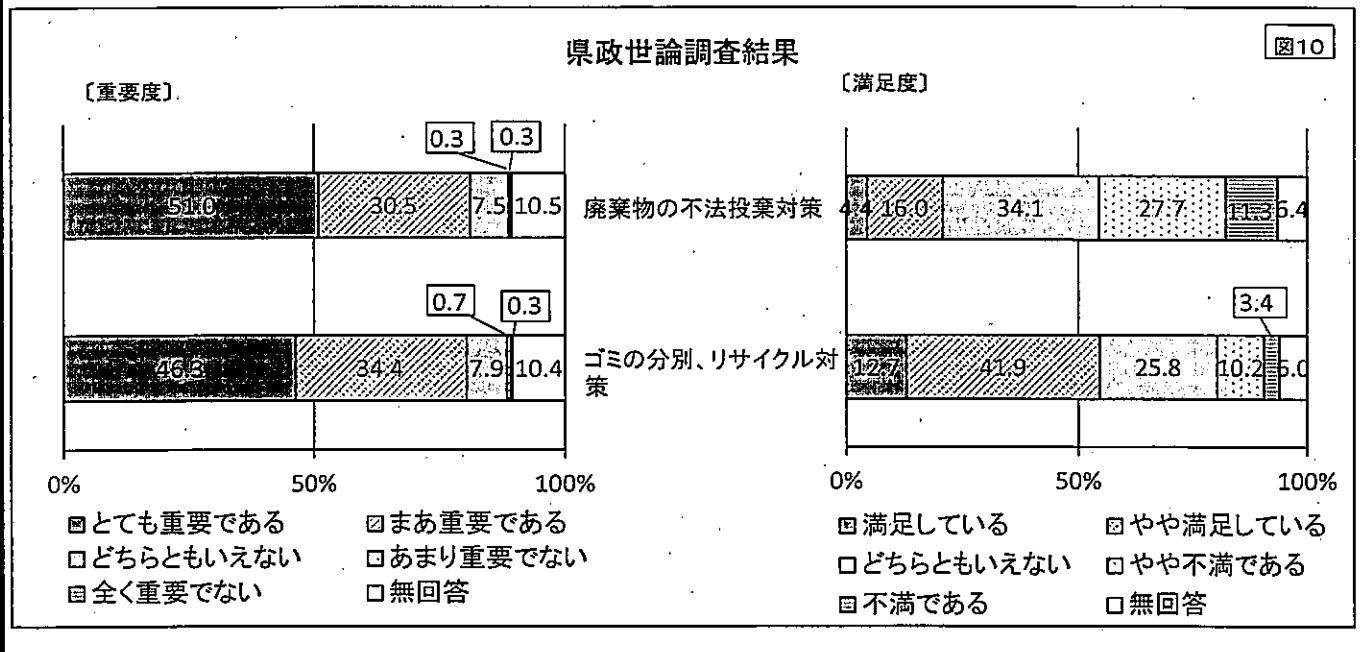
○現在、適正処理に向けた各種の対策を実施している。

- ①広報誌等での呼びかけ
- ②廃棄物110番(県民からの通報を365日、24時間電話・FAXで受け付ける)
- ③ヘリコプターによる県警との合同パトロール
- ④夜間・休日のパトロール など

○不法投棄・野外焼却の苦情件数は減少しているものの、依然として後を絶たない状況 **図9**



○県政世論調査結果によると、廃棄物の不法投棄対策について多くの方が重要と考えている一方、満足している方は少ない結果になっている。 **図10**



★不法投棄や野外焼却対策をより一層強化する必要がある。

- ①市町や関係機関等との連携を強化して取り組む必要がある。
- ②県民等からの通報をしやすくする必要がある。